

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第542号 令和4年11月・12月



『錦秋の京都』 森本 晋

目 次

	頁		頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	7) 広報だより	下村 智 … 11
2) 専門医に学ぶ	川崎舎俊一 … 4	8) 理事会報告	広報部 … 12
3) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	加計 剛 … 7	9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 14
4) 学術講演会予定	学術部 … 8	10) お知らせ	事務局 … 21
5) 産業医研修会	津田倫樹 … 9	11) 表紙のことば	森本 晋 … 21
6) 連載企画	馬場一徳 … 10	12) あとがき	近藤之暢 … 21

保健所だより

感染症だより 8月

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2022年第28週～第31週(7/11-8/7)の間に保健所で受理された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

- ・結核 4件 肺結核 2件、粟粒結核 1件、無症状病原体保有者 1件。年齢は70代 1件、80代 2件、90代 1件。推定感染地は国内 3件、不明 1件。

〈五類感染症〉

- ・梅毒 1件 早期顕症梅毒Ⅱ期、年齢は20代、性別は女性、確定感染地は国内、確定感染経路は性的接触。

〈新型コロナウイルス等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 13791件(疑似症・取り下げ除く暫定値)

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第28週 7/11～	第29週 7/18～	第30週 7/25～	第31週 8/1～
インフルエンザ	インフルエンザ(外来)				
小児科	RSウイルス感染症				2
	咽頭結膜熱				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2			1
	感染性胃腸炎	28	22	17	15
	水痘	1	2		
	手足口病	7	12	10	17
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	1			3
	ヘルパンギーナ		1	1	14
	流行性耳下腺炎	1			
	不明発疹症				
川崎病					
眼科	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	インフルエンザ入院				
	合計	40	37	28	52

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 30週(7/25～7/31)時点

・手足口病の保健所別の患者報告数が31保健所中12保健所で警報レベルを超え、保健所管内人口の合計は、東京都全体の46.2%となり警報レベルに達しています。今後、都内全体に流行が広がる可能性があります。

- ・RSウイルス感染症、ヘルパンギーナが増加傾向です。

感染症だより 9月

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2022年第32週～第35週(8/8-9/4)の間に保健所で受理された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

- ・結核 4件 肺結核 3件、無症状病原体保有者 1件。年齢は20代 1件、40代 1件、80代 1件、90代 1件。推定感染地は不明 4件。

〈三類感染症〉

- ・腸管出血性大腸菌感染症 1件 年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明。

〈四類感染症〉

- ・レジオネラ症 1件 病型は肺炎型、60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明。

〈新型インフルエンザ等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 12809件(疑似症・取り下げ除く暫定値)

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第32週	第33週	第34週	第35週
		8/8～	8/15～	8/22～	8/29～
インフルエンザ	インフルエンザ(外来)				
小児科	RSウイルス感染症				
	咽頭結膜熱			1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1			1
	感染性胃腸炎	6	5	13	15
	水痘				3
	手足口病	15	14	35	30
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	1		5	3
	ヘルパンギーナ	1	2	2	14
	流行性耳下腺炎			1	1
	不明発疹症				
川崎病					
眼科	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	インフルエンザ入院				
	合計	24	21	57	67

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 34週(8/22～8/28)時点

- ・手足口病の警報レベルが続いています。

専門医に学ぶ 第157回

公立福生病院 整形外科 川崎舎俊一

【症例】 91歳 男性

【主訴】 左股関節痛 歩行障害

【既往歴、生活歴】

悪性腫瘍含め既往歴 (-)

喫煙歴 (-). アルコール (-). ステロイド投与歴 (-)

【現病歴】 数年来股関節痛はあったが、ADLに支障はなかった。3ヶ月前より股関節痛増悪し、当科初診となった。レントゲン上左股関節構造破壊あり、鎮痛剤開始、手術の可能性を検討していた。当科初診一ヶ月時急速に疼痛増悪、歩行困難となり、レントゲン上急激な骨破壊の進行を認めた。短期間での股関節骨破壊の進行、保存加療での疼痛コントロール困難及びADL障害にて手術加療目的に入院となった。

【入院時現症】 元々ADL自立していたが、杖歩行数歩のADLに低下し、日常生活に支障をきたしていた。左股関節可動は、可動時痛にて不可であった。股関節周囲に熱感、発赤なし。

【画像所見】 当科初診一年半前に腹痛にて他科受診し施行した腹部単純レントゲンでは、股関節関節裂隙狭小化は認めるが、大腿骨骨頭圧壊、帯状硬化等も認めない。

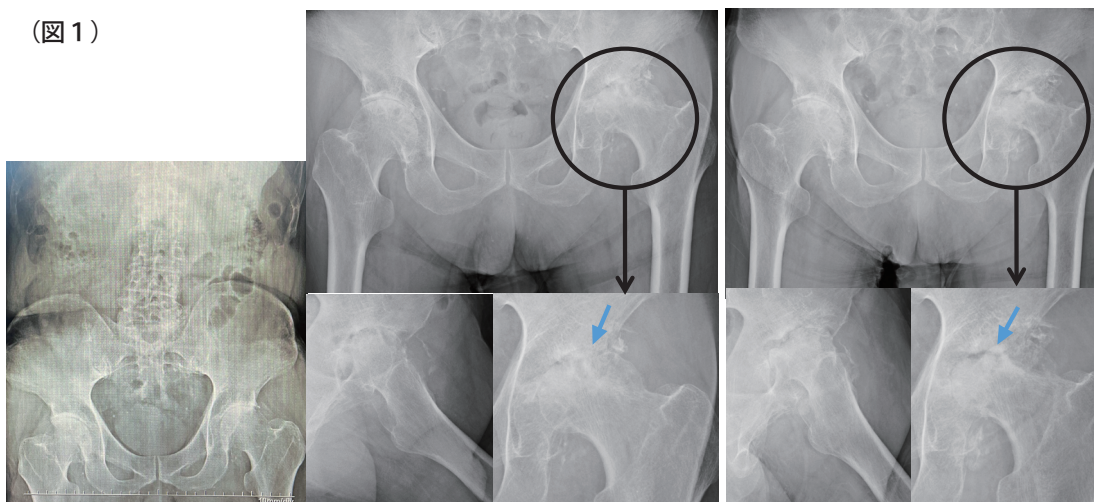
当科初診時レントゲンでは関節裂隙狭小化に加え、白蓋側の骨破壊、大腿骨頭圧壊を認める。

当科初診一ヶ月後股関節単純レントゲン写真では大腿骨頭骨破壊が急激に進行していた。

術前CTでも大腿骨頭のみならず、白蓋の骨破壊を伴っている (図1、2)。

【血液所見】 WBC 5900 Neut 66.6. CRP 0.33

(図1)



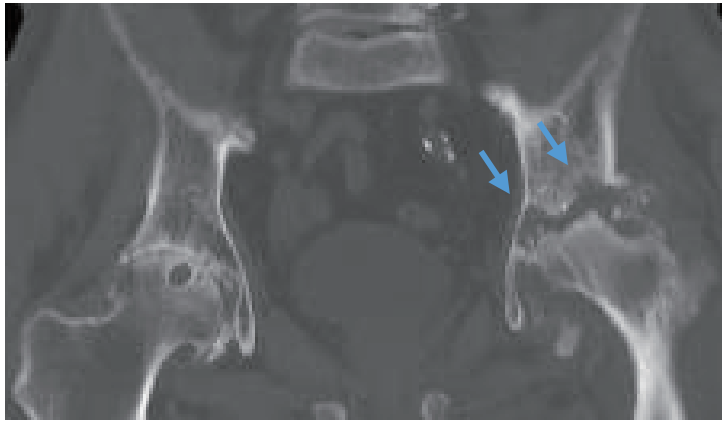
⇩) 骨頭骨破壊の急激な進行を認める

A) 当科初診一年半前
腹部単純レントゲン

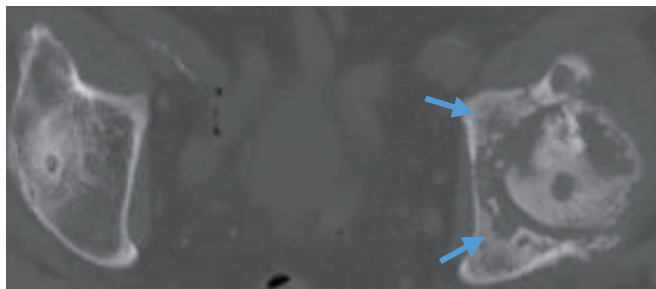
B) 当科初診時
股関節単純レントゲン

C) 当科初診一ヶ月後
股関節単純レントゲン

【図2】



↑) 大腿骨のみならず、臼蓋側骨破壊も伴う



A) 術前
股関節 CT

【問題1】 もっとも疑われる診断は？

【問題2】 術式は？

解答と解説

公立福生病院 整形外科 医長 川崎舎俊一

【解答】

問題1 急速破壊型股関節症

問題2 人工股関節置換術

【解説】

急速破壊型股関節症（Rapidly Destructive Coxopathy：RDC）は1970年にPostelらにより広く提唱された比較的稀な疾患概念で、数ヶ月より一年以内に股関節の高度な関節破壊が進行する疾患の総称である。

RDCの多施設研究では70-74歳、ついで75-79歳、80歳以上と高齢者に多いとされている。

原因は不明な部分が多く、大腿骨頭壊死や関節リウマチの特殊型、結晶沈着、関節軟骨の石灰化、特発性融解など諸説あり、未だ不明であるが、軟骨下脆弱性骨折が契機となり、発症するとの説がある。この際は軟骨の微小外傷に端を発する急激な自己免疫反応が端緒となっている可能性が疑われている。軟骨変性の結果、軟骨における血管侵入のbarrierが障害され、新生血管の侵入を許し、急激なchondrolysisが進行し、反応性に肉芽形成、結果骨の吸収破壊、骨の限局性壊死が二次的に起こると推察されている。

急激に股関節が破壊されるため、化膿性股関節炎、悪性腫瘍などの溶骨性変化との鑑別が重要である。感染が主体の骨破壊であった場合は洗浄ドレナージ、抗生剤投与にて感染制圧後、二期的に人工関節を設置することが必要であり、感染疾患との鑑別は重要である。基本的に化膿性股関節症に

比しRDCは採血上炎症反応が軽微である。しかし骨破壊が急激に進行している病期では炎症反応が比較的強くなる傾向にあり、採血結果のみで、急速破壊型股関節症と判断することは困難である。RDCを疑った場合は術中迅速塗沫、感染検出キット（ α ディフェンシンバイオマーカー）等にて感染を否定した後、人工関節を設置することが望ましい。

本症例では疼痛強く、歩行困難、画像上高度の股関節関節破壊を認めたため、股関節の機能再構築目的に人工股関節置換術を施行した。

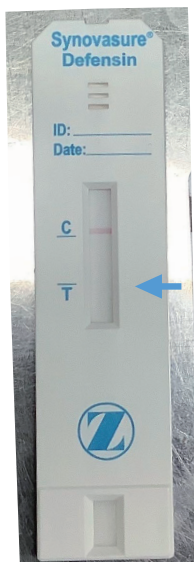
術前経過、術前画像検査では骨棘形成に乏しく、急速に股関節が破壊されたことを示唆していた。術前画像では大腿骨頭の帯状硬化を認めず、大腿骨頭のみならず、白蓋側の骨破壊をともっており、大腿骨頭壊死症は否定的であった。局所所見、採血上化膿性股関節炎による骨破壊は否定的であり、急速破壊型股関節症疑いにて手術を計画した。加えて術中迅速塗沫、 α ディフェンシンバイオマーカーにて感染を術中に否定、術中迅速病理にて腫瘍性疾患を否定した後、急速破壊型股関節症と診断し、人工股関節置換術を施行した。

なお術中提出した大腿骨頭最終病理診断では、好中球浸潤の様な急性炎症性細胞浸潤の所見はなく、感染性疾患は否定的であった。また腫瘍性細胞も認めなかった。破骨型多核巨細胞や類骨形成、新生血管の増生のある肉芽組織を認め、急速破壊型股関節と診断された。

* α ディフェンシンバイオマーカー

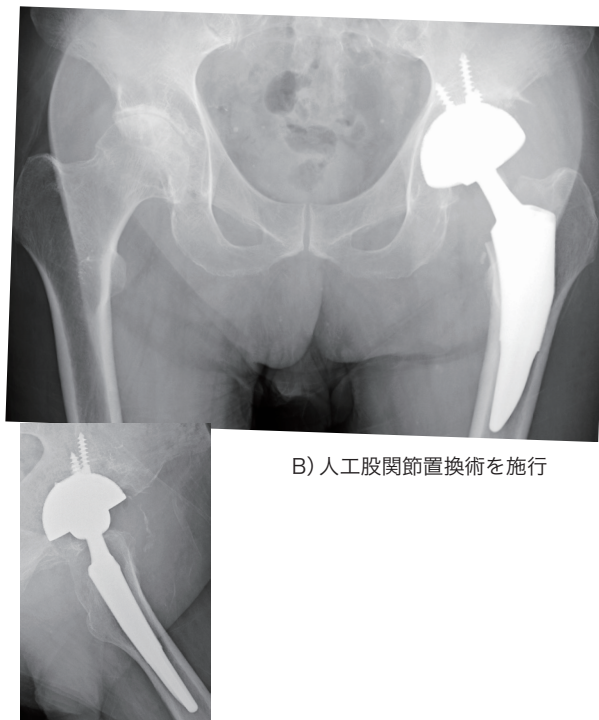
病原菌に反応して好中球より放出される抗菌ペプチドである、 α -ディフェンシンを検出するキット

(図3)



↑) 術中施行誌、陰性であった

A) 感染検出キット
(α ディフェンシンバイオマーカー)



B) 人工股関節置換術を施行

【参考文献】

山本卓明：MB Orthopedic 24(2): 9-16, 2011
安倍晃生他：東日本震災誌33巻：28-32, 2021

山口亮介他：日整会誌 86(8):S1322,2012
越智隆弘：NEW MOOK 股関節外科 141-148

糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

西多摩地域糖尿病医療連携検討会

平素より当検討会の事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当検討会では2018年度より会員の皆様に、医師会報を通して糖尿病診療に役立つヒントを得て頂ければと願い「糖尿病診療を再考する症例」をテーマに【糖尿病専門医による症例提示】を企画しております。今回は、青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 加計 剛 先生に症例提示をお願いいたしました。皆様の日頃の糖尿病診療の一助となりましたら幸いに存じます。

【1型糖尿病の家族歴を有し劇症1型糖尿病を発症した一例】

青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 加計 剛

【症例】40歳男性【主訴】口渇、嘔気・嘔吐

【現病歴】X年7月以前に健康診断で糖尿病を指摘されたことはなかった。X年7月26日に40°Cの発熱があり、PCRセンターを受診し、SARS-CoV-2 PCR陰性であった。その後は市販の解熱薬や近医で処方されたアセトアミノフェン等を服用していた。発熱してからは脱水予防を目的に糖入りの清涼飲料水を多めに摂取していたところ、7月30日から口渇感を自覚し、夕方より計5回の嘔吐があった。翌7月31日の午前1時から四肢指先のしびれも出現したため救急外来を受診した。血液検査・尿検査の結果、血糖 1080 mg/dl、pH 7.091、アニオンギャップ (AG) 29.2 mmol/L、尿中ケトン体 3+であり、糖尿病性ケトアシドーシス (DKA) の診断で同日当科入院となった。

【既往歴】軽度肝障害 (健康診断)

【常用薬】なし

【家族歴】娘 (8歳) 急性発症1型糖尿病

【生活歴】飲酒：ビール 350ml × 3本 / 日、喫煙：1-2本 / 日 × 20年間

【血液尿検査所見】尿ケトン (3+)、血糖 1080 mg/dl、HbA1c 6.1%、血中Cペプチド 0.1 ng/ml、尿中Cペプチド 0.1 μg / 日、抗GAD抗体 < 5.0 U/ml、抗IA-2抗体 < 0.6 U/ml、抗インスリン抗体 < 0.4%

【入院後経過】入院時HbA1c 6.1%で症状発現から1日でケトアシドーシスに至っていることから劇症1型糖尿病発症による糖尿病性ケトアシドーシスと診断した。大量輸液とインスリン持続静脈内投与を行い症状は軽快した。インスリンアスパルト・インスリンデグルデクによるBasal-Bolus-TherapyとFlash-Glucose-Monitoringを活用した血糖測定を指導して第11病日に退院とした。

【症例のまとめ】本症例は8歳になる娘が当時4歳のころに急性発症1型糖尿病を発症し、近医で治療中であったことから、1型糖尿病の家族内発症と考えられた。1型糖尿病は遺伝因子と環境因子が発症に関わっていることが指摘されているが、本邦において疾患感受性遺伝子の解析は未だ十分ではない。既報では、1型糖尿病は発症する子よりも親の方が高齢で発症するケースが多く、子が急性発症1型糖尿病、親が緩徐進行1型糖尿病を発症した報告が多い。本症例のように劇症1型糖尿病と急性発症1型糖尿病による家族内発症は比較的稀であり、今後遺伝子解析を含めて検討を行う方針である。

【文献】

1. 今川 彰久ら：1型糖尿病調査研究委員会報告；糖尿病 55 (10)：815～820, 2012
2. Altobelli E, Chiarelli F, Valenti M, Verrotti A, Blasetti A, Di Orio F (1998) Family history and risk of insulindependent diabetes mellitus: a population-based casecontrol study. Acta Diabetol 35: 57-60

◇学術講演会予定

令和 4.10.19

開催日	開始～終了 時間	会場	単 位 数	CC	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
11/4 (金)	19:00 ～ 21:00	【Web 講演】	2	8 46	学術講演会 「令和 4 年度西多摩保健所結核講演 会～結核を疑うとき～」 【講演 1】 「西多摩保健所管内の結核の状況と 対策」 【講演 2】 「結核の診断と治療」 【講演 3】 「診断が遅れた事例の検討」	西多摩保健所 保健対策課長 村上邦仁子 先生 (公財) 結核予防会 総合健診推進センター 副所長 田川 斉之 先生 田川 斉之 先生 村上邦仁子 先生
11/9 (水)	19:30 ～ 20:30	【Web 配信】 (Zoom) 又は、 西多摩 医師会館	1	42	学術講演会 「第 37 回西多摩心臓病研究会」 演題「当院における外科的治療の取 り組み～心不全治療ガイドライ ンにおける SGLT 2 阻害剤の位置 づけを含めて (仮)」	青梅市立総合病院 外科 副部長 山本 諭 先生
11/10 (木)	19:30 ～ 20:30	【Web 配信】 (Teams) 又は、 羽村市 ゆとろぎ	1	52	学術講演会 演題「酸分泌抑制薬の安全性を考 慮する」	川崎医科大学総合医療センター 特任教授 春間 賢 先生
11/14 (月)	19:00 ～ 20:30	【Web 講演】	0.5	77	学術講演会 「骨粗鬆症地域連携講演会」 演題「多職種連携・地域連携で行 う骨粗鬆症治療」	慶友整形外科病院 骨関節疾患センター センター長 岩本 潤 先生
11/16 (木)	19:30 ～ 20:30	【Web 配信】 (Zoom) 又は、 西多摩 医師会館	0.5	42	学術講演会 「第 51 回青梅心電図勉強会」 【ミニレクチャー】 演題「低侵襲、被爆低減を目指した 心房細動アブレーション治療」 【ディスカッション】 テーマ「高齢者心房細動の Management を考える」	青梅市立総合病院 循環器内科 医長 山尾 一哉 先生 梅郷診療所 所長 江本 浩 先生 青梅市立総合病院 循環器内科 医長 矢部 顕人 先生 高木病院 内科 野本 英嗣 先生
11/17 (木)	19:00 ～ 20:10	【Web 講演】	1	70	学術講演会 「西多摩地区 CNS WEB セミナー」 演題「異質性・多様性に富むうつ病 当事者をどう支援していくべき か」	杏林大学医学部 精神神経科学 教授 坪井 貴嗣 先生
11/24 (木)	19:00 ～ 20:00	【Web 講演】	1	4	学術講演会 「GLP-1RA Online Meeting」 演題「GLP-1 受容体作動薬 これ からの使い方を考える」	山梨大学大学院 糖尿病・内分泌内科学教室 教授 土屋 恭一郎 先生
11/29 (火)	19:00 ～ 20:00	【Web 講演】	1	7 20	学術講演会 「第 31 回西多摩呼吸器懇話会」 演題「当院における睡眠時無呼吸症 候群の治療」	青梅市立総合病院 呼吸器内科 部長 大場 岳彦 先生

日本医師会認定 東京都医師会・西多摩医師会産業医研修会開催

令和4年9月4日（日）あきる野ルピアにおいて、日本医師会認定の東京都医師会・西多摩医師会産業医研修会が開催された。（参加者 130名）。コロナ禍での開催のため、会場の換気を十分に行い、参加者にはマスクの着用を義務付け、非接触型体温計で体温測定を行い、手指のアルコール消毒を行うなど感染対策に留意しながら行った。初めに、西多摩医師会進藤幸雄会長より御挨拶をいただき、午前10時から午後4時20分まで、昼に1時間の休憩をはさんで行った。この研修会のすべての講義に参加することにより、基礎研修の受講者では後期研修4単位と実地研修1単位の取得が、生涯研修の受講者では更新研修1単位、専門研修3単位及び実地研修1単位の取得がそれぞれ認められた。

1時限目は、産業医科大学ストレス関連疾患予防センター特命講師 戸津崎 貴文先生による「直近の産業医に関する労働衛生関連法令の改正点～過労死等労災認定基準の改正を踏まえ～」をテーマにした講義があり、労働時間や労働時間以外の勤務時間の不規則性や負荷要因についての労災認定基準の改正について説明された。

2時限目は、同じく戸津崎先生による「過労死等の防止における産業医の役割」をテーマにした講義があり、過重労働には長時間労働だけではなく、勤務の不規則性や作業環境が要因になることもあり、また過重労働者に対する面接指導の要点を説明された。

午後からは実地研修のグループと講義のグループに分かれて講習が行われた。実地研修では、認定栄養ケア・ステーション和の所澤 和代先生による「食生活習慣におけるチェックと職場での指導ポイント」をテーマに、実際に前日の食事内容を書き出し、それをもとに主食、主菜、副菜がそろい、糖質、蛋白質、脂質の三大栄養素及びビタミン、ミネラル、食物繊維を含んだ栄養バランスの良い食事について説明された。

3時限目は、文京白山労働衛生コンサルタント産業医事務所の神田橋 宏治先生による「健康診断の事後措置」をテーマにした講義があり、健診結果に対する就業区分判定について詳しい説明があった。

4時限目は、株式会社梶原産業医事務所代表 梶原 隆芳先生による「メンタルヘルス対策における職場復帰支援」をテーマにした講義があり、メンタル不調者の職場復帰の具体的な手順の説明があり、また裁判となった2例について解説された。

5時限目は、富士通株式会社健康推進本部 統括産業医 佐藤 裕司先生による「リモートワークにおける産業医の役割」をテーマにした講義があり、コロナ禍で加速したリモートワークでの心身の変化について説明があり、産業医としてどのように対処していくかの要点につき解説された。

文責 津田 倫樹



情報社会と疑似科学

ばば子どもクリニック 馬場 一徳

今の世の中、様々な情報が氾濫しています。玉石混交とはよく言ったもので正しい情報から眉唾ものの情報まで様々なものがありますが、一見正しように思えるものでも十分検証したら否定されることもあり、様々な情報が氾濫しているからこそ、その判別はかなり難しいものになっています。

そういったものの中に「疑似科学」と言われるものがあります。疑似科学は似非（エセ）科学などとも言われ、「科学的で事実に基づいていると主張しているにもかかわらず、科学的方法と相容れない言明・信念・行為（ウィキペディアより）」と定義されています。昔から疑似科学は世の中にあり、雨乞いの儀式や生贄の風習のような過去のものから、血液型占いやマイナスイオンの概念など最近になり出てきたものもあります。我々医師の立場で言えば、ホメオパシーや反ワクチンの陰謀論など診療に多大な影響を及ぼすものも多く、その影響はただ単に信仰やエンターテインメントを超えたものになっています。

疑似科学の研究で有名な信州大の菊池教授は、疑似科学の本質として「科学や知識の方法の問題ではなく、それを修正・反証しないことにより拡大される信念の一種である」と述べています。自分に対して肯定的な情報は集めるが否定的な情報は集めないという傾向は誰しもが持つ人間の習性だと思いますが、近年では SNS の広がりにより、自分の考えを支持してくれる情報だけで固まり、他の情報は排除する傾向が強くなり、自分の考えの偏りが強くなる傾向にもあります。これにより、偏った考えが広まり、なおかつそれを修正することを拒否し続けると、疑似科学として広まることとなります。修正を拒否するという点からは、科学というよりは「信念」の一種とも取れます。

では、我々が疑似科学に騙されないためにはどのようにしたらいいのでしょうか？ それには、「批判的な」「客観的な」視点で物事を見る、ということが必要だと思います。例えば、血液型が B 型の人は大雑把であるという事に対して、単に自分に当てはまるかどうか（自分も B 型なので理解はできるのですが）ではなく、「B 型で大雑把な人」「B 型で大雑把でない人」「B 型以外で大雑把な人」「B 型以外で大雑把でない人」の 4 群に分けて評価する、というように、客観的なデータをもとに評価することが必要だと思います。

また、「さんた論法」というものがあります。雨乞いを例に出すと『「雨乞いをした」ら「雨が降った」ので「雨乞いは効果があった』』というもので、最後に「た」が 3 つ付くので、「さんた論法（三た論法）」と言います（サンタクローズではありません）。これも、特定の事象だけ見ているものであり、客観的な検証にはなりません。

そして、我々が疑似科学に騙されないのは勿論のことですが、逆に我々が疑似科学の発信源になる危険もあるということは認識しておく必要があると思います。以前あった「イソジンうがいのがコロナウイルスに効く」と言った某知事のように、人は権威のある人の発言は盲信する傾向があ

ります。我々が発言したことが「医師」というフィルターを通すことで意図せず疑似科学として広がるリスクがあるということは認識する必要があると思います。

世の中に氾濫している様々な情報に対して、我々医師こそ、客観的な視点で理解し拡散していくことが必要なのではないかと思います。

広 報 だ よ り



人生100年時代にどう対処しましょうか？

あきる野市 豊信会草花クリニック 下村 智

人生100年時代と言われるようになってきました。外来の患者さんに「人生100年時代になるようですが、100歳まで生きたいですか？」と聞くと返事はいろいろです。100歳とは言わずもっと長生きしたいと言う人、今より2-3年長生きできたらいいと言う人、今すぐにでも死にたいという、いろいろな答えが返ってきます。確かに、今の日本の状況は、皆が皆、満足している人ばかりではないということだと思います。ただ、すぐにでも死にたいという高齢者の声は増えてきているような気がします。それは何故でしょうか？ 20世紀と21世紀の社会の働き方や生き方の観点からの違いで、人の生活に影響した要因としては、5つの変化が関係しているとのことです。その5つの変化とは1)テクノロジーの変化、2)グローバル化の変化、3)人口構成の変化、4)社会の変化、そして最後に5)エネルギー・環境の変化だそうです。

産業革命以来徐々に進んできた人の働き方、生き方の変化のスピードが、最近ものすごいスピードで変わってきているようです。確かに、自分の生きてきた中でも携帯電話がない時代には、約束事をする場合、時間と場所をきっちり決めていたと思います。今では、今ここにいるから何分で到着すると簡単に連絡できるようになりました。便利にはなりましたが、昔の風情がなくなって、寂しく思います。また昨今のコロナ感染症の影響もあって在宅勤務が増えて、人と人の対面のコミュニケーションが減ってきています。その為に人と人の繋がりが減って、孤立化する人が多くなってきています。昔ながらの地域の人の交流も希薄化して、会社勤めが終わった後の人のつきあいが少なくなってきました。また日本は、経済では停滞した30年と言われてますし、科学技術の分野では、世界の中での日本の地位が徐々に低下しているのが現状です。世界1の超高齢化社会になり国民総エネルギーが減っているように思われます。

中国、インド、シンガポール等の国家の成長により、各国のエネルギー使用が多くなり、石油の埋蔵量が徐々に減少する状況になっています。化石燃料による気候変動は最近の大水害、温暖化現象と今までにない変化を感じさせます。また、ロシアによるウクライナ侵攻は特に食料、エネルギー価格の上昇に拍車をかけ、人々の生活を委縮させ、不安を感じさせています。

ではどうしたら、楽しく生きることができるかということですが、自分は多様な価値をお互い認め合い、ローカルの活動に参加して繋がりを作り、隣近所お互い様という昔ながらの日本の生活様式を振り返り、心のつながりを持つことが大切かなと思います。

理事会報告

★ Information

9月定例理事会**令和4年9月13日(火)****西多摩医師会館**

(出席者:進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・湯田・野口・野本・近藤)

【1】報告事項**(1) 各部報告**

学校医部：8/26 に開催した学校医部会の決定事項・内容等について

公衆衛生部（産業医担当）：9/4 に開催した産業医研修会の状況等について

学術部：10/15 開催予定の「市民健康講座」の告知・内容等について

総務部（社会保険担当）：9/8 に開催された「地区医師会社会保険担当理事連絡会」の内容等について、市町村国保主務担当者との懇談会の開催日が10/14 に決定した件

(2) 地区会報告（各地区理事）

福生市 8/12・9/2 2市1町PCRセンターに係る会議

羽村市 9/16 理事会開催予定

あきる野市 9/6 理事会・9/12 例会を開催予定

瑞穂市 9/20 定例会開催予定

(3) その他報告：

第96回多摩医学会講演会について：11/5 に開催される多摩医学会講演会の演題・開催方法等について、9/7 の多摩医学会役員会での決定事項等について説明・報告

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、準会員1名の入会申請が紹介され承認された

また、正会員1名・準会員2名の退会が報告された

【3】協議事項**(1) 「西多摩新型インフルエンザ等感染症地域医療体制ブロック協議会」委員の就任について（依頼）**

資料により、標記に係る保健所からの依頼内容が説明・紹介され、依頼内容通り6名の委員就任が承認された

— 可決承認 —

(2) 国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦について（依頼）

資料により標記依頼内容が紹介・説明され、依頼の通り安部学先生を推薦することが提案され可決承認された

— 可決承認 —

(3) 「インフルエンザ個別予防接種業務委託契約書」の締結について

資料により、管内8市町村との標記契約書の内容等につき説明、締結について承認が求められ可決承認された

— 可決承認 —

9月定例理事会

令和4年9月27日(火)

休会

10月定例理事会

令和4年10月11日(火)

西多摩医師会館

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・野本・近藤)

下線はWeb参加

【1】報告事項**(1) 各部報告**

総務部(社会保険担当)：9/28に開催した「オンライン資格確認の導入のための説明会」の状況等について

公衆衛生部：資料により、9/27の「第5回地区医師会感染症担当理事連絡会」内容等について

(2) 地区会報告(各地区理事)

青梅市 9/29 総務会、10/5 理事会を開催

福生市 10/3 福生市三師会総会、10/4 理事会、10/7 2市1町PCRセンターに係る会議を開催

羽村市 9/16 理事会を開催

瑞穂町 9/20 定例会を開催

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、準会員4名の入会申請が紹介され承認された
また、準会員6名の退会が報告された

【3】協議事項**(1) 令和5年度学校医等各種報酬及び予防接種委託料について(要望)**

資料により、標記に係る行政からの要望が紹介・説明され、対応を協議
予防接種委託料の1点単価については、10円に近づいていることから、行政との交渉にあたり当会からの要望を文書化し次回理事会で協議することとし継続審議とした

— 継続 —

(2) 東京都災害時医療救護従事者の推薦について

今回は推薦者を選出する必要がなく議題を取り下げとした

会員通知

- 会報 9-10月号
- 宿日直表(青梅・福生・阿伎留)
- 学術講演会(9/15、9/20、9/21、10/6、10/12、10/19、10/27)
- 産業医研修会(日本橋医師会 10/15)
- " (女子医大医師会 3/26)
- " (江戸川医師会 12/3)
- " (板橋区医師会 3/18)
- 第96回多摩医学会講演会の開催のご案内(11/5)
- 管内市町村国保主務担当者との懇談会(10/14)
- 青梅市立総合病院より「入院制限解除のお知らせ」
- 西多摩地域脳卒中医療アンケートのお願い
- 令和4年度糖尿病医療連携の為のアンケート調査(依頼)
- 令和4年度「東京都糖尿病性腎症重症化予防事業医療関係者向け研修会」(9/9)
- 酸素、医療ステーション(10月～12月)出務依頼
- 新型コロナウイルス感染症の患者に対する療養期間等の見直しについて
- オンライン資格確認導入のための見積取得に関する会員への周知徹底のお願いについて
- オンライン資格確認説明会開催案内(9/28)
- 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その77)
- 10月のレセプト提出日について
- 東京都医師会感染症担当理事連絡会報告(9月27日)
- 外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンスの開催について
- 西多摩医師会館近隣道路通行止めのお知らせ(10/19～10/21 9:00～18:00)
- 西多摩医師会名簿(令和4年7月現在)
- 西多摩医師会市民健康講座(10/15)ポスター
- 新規開業医のための保険診療の要点(総論・各論)
- 2023年版医師日記(手帳)の斡旋について
- 令和5年用「駐車禁止等除外標章(緊急往診用)の新規申請について
- 「東京都医師会雑誌令和5年1月号(新春随想集)」について(依頼)
- 医療、介護、保育分野における適正な有料職業紹介事業者認定制度(チラシ)
- 2022年度がん征圧月間、禁煙ポスター
- 結核予防週間ポスター
- 新型コロナワクチン3回目接種がまだお済みでない皆様へ
- やっぱり看護が好き vol.76
- 東京都立神経病院令和4年診療案内
- 健康食品に関する安全性情報共有事業について(協力依頼)
- 看護学生募集ポスター
- 第70回「手足の不自由な子どもを育てる運動」に伴う募金活動へのご協力について(依頼)
- 都立小児総合医療センター「第2回医療連携講演会のご案内(11/16)」
- 西多摩保健所「令和4年度結核講演会の開催について(11/4)」
- 学校医会報
- 東京都眼科医会「目の健康講座(11/26)」
- 医療機関受診勧奨通知(生活習慣病治療中断者)の送付に伴う事業の周知について
- 施設療養者への支援依頼
- 自宅療養者支援等に係る酸素濃縮装置事業者の連絡先の変更について(その1)
- 職場における熱中症予防対策の徹底について
- 令和4年度第1回主治医研修事業(介護保険制度・障害者総合支援法)研修会の開催
- 令和4年度東京都医師会産業医前期研修会の開催について
- 「オミクロン株のBA.5系統への置き換わりを見据えた感染拡大に対応するための医療機関・保健所の負担軽減等について」の一部改正について
- B型肝炎ワクチンの供給見込みについて(更新情報)
- ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について①
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について②
- 医療用解熱鎮痛薬の安定供給について

- 感染性廃棄物の取り扱いについて（国内でのサル痘患者の発生を受けて）
- 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その23）」の送付について
- 新たに薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用について 外1件（通知）
- 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオカプセル）の薬価収載に伴う医療機関及び薬局への配分等について
- 新型コロナウイルス感染症に関する医療機関への助成金等に関する不審な勧誘等について（再周知）
- 新型コロナウイルス感染症に係る発生届の限定について（緊急避難措置）に対する都の対応について
- 新型コロナウイルス感染症の研究用抗原定性検査キットに関する留意事項について（その2）
- 乳幼児医療費助成制度及び義務教育就学時医療費助成制度における医療証の性別欄削除について
- 毎月勤労統計調査（第一種事業所）の事前調査への調査協力依頼について
- 無痛分娩の提供体制に関する情報公開の一元化・推進について
- 令和4年度第2回東京都立学校産業医研修会の開催について
- 感染対策向上加算の施設基準において求める研修に該当する令和4年度院内感染対策講習会の周知について
- 「医療情報・システム基盤整備体制充実加算の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その1）」の送付について
- TMA 近未来医療会議第2回公開シンポジウムのミーティング番号等のお知らせについて
- With コロナの新たな段階への移行に向けた療養の考え方の見直しについて
- オンライン資格確認導入のための見積取得に関する会員への周知徹底のお願い
- 一般社団法人全国医療介護連携ネットワーク研究会第16回全国大会（ハイブリッド開催）
「国内外の地域医療 DX の実際と地域包括ケアの今後」のご案内について
- 看護の処遇改善並びにオンライン資格確認の導入の原則義務化及びこれに伴う診療報酬上の加算の取扱いについて
- 後期高齢者医療の窓口負担割合の見直し等に係る医療機関等向けの周知事項について
- 新型コロナウイルス感染症の中和抗体薬「エバシエルド」の取扱いについて
- 令和4年度「労災診療費算定基準・地方公務員災害補償制度・自賠責保険診療費算定基準の説明会」講演動画・資料のホームページ公開について
- 令和4年度東京都糖尿病性腎症重症化予防事業医療関係者向け研修会の開催について
- 5歳以上11歳以下の者に対する新型コロナワクチンの3回目接種の実施に当たっての留意事項について
- With コロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて
- 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオカプセル）の薬価収載に伴う医療機関及び薬局への配分等について（その2）（その3）
- 新型コロナウイルス感染症に係るワクチンに関する予防接種後副反応疑い報告書の記載方法について
- 新型コロナウイルス感染症に係る行政検査における抗原検査の取扱いについて
- 予防接種法施行令の一部を改正する政令及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布並びに「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について
- 令和4年度第2回・第3回検案業務サポート研修会の開催について（多摩地域の登録検案医確保及び検案業務サポート事業）
- 令和4年度児童虐待対応研修【専門講座第2回】の開催について
- 医療機関等への支援に関する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」等の活用について
- 後期高齢者医療制度における一部負担金の負担割合の見直しに係る費用の請求に関する診療報酬明細書等の記載について
- 新型コロナウイルス感染症の発生届限定化

- に伴う都の対応について
- 新型コロナウイルス感染症の発生届限定化以降の「地域における自宅療養者への医療支援強化事業」及び「自宅療養者への往診体制の強化事業」について
 - HER-SYSによる陽性者の日時報告方法について
 - 診療・検査医療機関による健康観察等支援事業実施要綱の改正等について
 - 令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の新型コロナウイルスワクチンの接種に係る事業の継続について
 - オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保について（その4）
 - 紹介状なしで受診する場合等の「特別の料金」の見直しについて
 - 新たな化学物質規制に関するリーフレット及び事業者向けオンライン講習会の案内について（情報提供）
 - 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その75）
 - 第1回産業医Web研修会の開催について
 - 令和4年度医療安全セミナーの周知について（依頼）
 - 季節性インフルエンザワクチンの供給及び今冬のインフルエンザワクチンの接種対象者への呼びかけについて
 - 後期高齢者医療における窓口負担割合の見直しに伴う診療報酬明細書の計算事例の追加について（その2）
 - 食中毒の発生について
 - 新型コロナウイルス感染症患者の療養期間を超えて治療を行う場合の対応について
 - 帝京大学医師会「産業医研修会」申込書
 - 東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会市民公開講座『「A世代」（思春期）・「YA世代」（若年成人）がん総論と患者の抱える課題について』の開催について
 - V-SYS操作マニュアル第6.8版について
 - 「新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオカプセル）の薬価収載に伴う介護老人保健施設等での活用等について」の周知について
 - HPVワクチンの予防接種に関する講習会について
 - With コロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しに係る公費負担の取扱いについて
 - 後期高齢者医療における窓口負担割合の見直しに伴う配慮措置に係る事務処理等について
 - 厚生労働行政推進調査事業（風しんイムノクロマト法迅速キットの活用に関する研究）への協力依頼について（再依頼）
 - 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その26）」の送付について
 - 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その28）」の送付について
 - 信用保証協会によるセーフティネット保証5号の指定期間延長について
 - 新型コロナウイルス感染症の抗原定性検査キットの適正な選択に関するリーフレットについて
 - 新型コロナウイルス感染症の発生届限定化に関するQ&Aについて
 - 新型コロナを疑う症状がある方への抗原定性検査キットの配布及び東京都陽性者登録センターの対象年齢の拡大等について（1）
 - 第34回（令和4年度）健康スポーツ医学講習会の開催について
 - 第66回日医社会保険指導者講習会の開催見送りについて
 - 東京都医師会主催「令和4年医業継承セミナー」の開催について
 - 予防接種法施行令の一部を改正する政令及び予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布並びに「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について
 - 令和3年度新型コロナウイルス感染症拡大に伴う区市町村が実施するがん検診の受診状況等に関する調査の結果について（情報提供）
 - 令和4年台風第14号に伴う要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について（その1・その2）
 - 令和4年台風14号に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて
 - 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その27）」の送付について

- 「看護職員処遇改善評価料の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その2）」の送付について
- 「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント Ver 8.0」について
- 「病院、診療所等の業務委託について」の一部改正について
- 「令和4年度 医学生、研修医等をサポートするための会」の開催について
- 医薬品の「使用上の注意」の改訂について
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
- 医療事故調査制度研修会の開催について
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令について
- 高齢者施設等における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオカプセル及びパキロビッドパック）の活用方法について（改定）
- 新型コロナウイルスワクチン接種業務に従事する医療職の被扶養者の収入確認の特例の延長について
- 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の修正）
- 日本医師会認定産業医・健康スポーツ医制度における研修会の開催予定について
- 認定医療法人制度に関するセミナーの開催について（情報提供）
- 令和4年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について
- 令和4年度死亡時画像診断（Ai）研修会の開催について（ご案内）
- 令和4年度児童虐待対応研修【専門講座第3回】の開催について
- 令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の事業の継続について
- 令和4年度東京都医師会産業医基礎・生涯研修会の開催について
- 「交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム」の開催について
- With コロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて（一部改正）
- ラゲブリオカプセル 200mg の保険適用に係る留意事項の一部改正について
- 医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて
- 健康経営優良法人 2023 の申請受付について
- 後期高齢者医療の窓口負担割合の見直しに伴う配慮措置に係る事務処理等（1円単位での負担額徴収）について
- 後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて
- 都が設置する新型コロナウイルスワクチン接種会場における高齢者インフルエンザ定期予防接種の実施について
- 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第8.1版」の周知について
- 「第31回日本医学会総会 2023 東京」の参加登録のお願いについて（2023年4月21日（金）～23日（日）開催）
- 「令和4年度中皮腫の診断精度向上のための講習会」のご案内
- エボラ出血熱に係る注意喚起について
- オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制確保について（その5）
- 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオカプセル）の適正使用について
- 新型コロナウイルス感染症の「後遺症」対応医療機関の公表について
- 生後6か月以上4歳以下の者への新型コロナワクチン接種に向けた接種体制の準備について（その2）
- 電子処方箋に関するオンライン説明会の実施等について
- 東京都新型コロナウイルスワクチン接種促進支援事業の継続について
- 令和4年度「医療保険事務講習会」の講演動画及び資料のホームページ公開について
- 令和4年度第4回難病医療ネットワーク医療従事者向け研修の実施について
- 新型コロナウイルス感染症の発生届限定化に関するQ&Aについて

医 師 会 の 動 き

令和 4 年 10 月 20 日現在			
医療機関数	190	病院	28
		医院・診療所	162
会 員 数	491	正会員	205
		準会員	286

会 議

9月6日	第2回西多摩地域脳卒中医療連携 検討会
8日	第2回西多摩地域糖尿病医療連携 検討会
13日	定例理事会
10月11日	定例理事会
13日	在宅難病調整委員会、在宅難病訪 問診療（青梅）
14日	管内市町村国保主務担当者との懇 談会
20日	広報部会（会報編集）
25日	定例理事会

講演会・その他

9月1日	学術Web講演会 『Cardiovascular Remote Conference これからの心不全治 療を考える会 in 西多摩』 《講演》 《Special Lecture》 演題：「パンデミックに立ち向か う心不全診療 UP TO DATE」 演者：札幌医科大学医学部 循環 器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 准教授 丹野 雅也 先生 《Discussion》
9月4日	東京都医師会・西多摩医師会産業 医研修会 (1) 直近の産業医に関する労働衛 生関連法令の改正点～過労死等労 災認定基準の改正を踏まえ～ 産 業医科大学 ストレス関連疾患予 防センター 特命講師 戸津崎 貴文 (2) 過労死等の防止における産業 医の役割 同上 (3) 健康診断の事後措置 文京白山労働衛生コンサルタント 産業医事務所 神田橋 宏治

(4)	メンタルヘルス対策における 職場復帰支援 梶原産業医事務所 梶原 隆芳
(5)	リモートワークにおける産業 医の役割 富士通株式会社 統括 産業医 佐藤 裕司
(6)	食生活習慣におけるチェック と職場での指導ポイント 認定栄養ケア・ステーション和 所澤 和代
8日	保険整備会
9日	「糖尿病合併症を理解するための 勉強会（循環器専門医）」(Web) 《講演》 演題：「下肢閉塞性動脈硬化症に よる足指壊疽と感染」 演者：青梅市立総合病院 循環器 内科副部長 宮崎 徹 先生
15日	法律相談
15日	学術Web講演会 『西多摩地区 CKD 病診連携研究 会』 《特別講演》 演題：『エビデンスとリアルワール ドから考える高尿酸血症の最前線 ～ガイドライン第3版追補版を 踏まえたユリス錠への期待～』 演者：帝京平成大学 教授・国際 交流センター長 帝京大学 内科学講座 客員教授 内田 俊也 先生
17日	西多摩地域脳卒中医療連携検討会 勉強会・第1回在宅医療講座 「在宅医療を学び 実行する勉強会」 【講演】；演題「福岡県飯塚地域に おける地域包括ケアの実践」 演者：飯塚病院 地域包括ケア推 進本部 マネージャー 小栗 和美 様 【グループワーク】
20日	学術講演会（Web、会場聴講） 『西多摩医師会学術講演会－潰瘍 性大腸炎－』 《講演》

- 演題：「診療ガイドラインからみた潰瘍性大腸炎治療戦略」
 演者：東京医科歯科大学 消化器内科 消化器連携医療学 准教授 藤井 俊光 先生
- 21日 学術Web講演会
 『心不全と心臓弁膜症の会』
 講演①
 演題：「知っておきたいTAVIの最新情報」
 演者：公益財団法人 日本心臓血管研究振興会附属 榊原記念病院 循環器内科 部長 高見澤 格 先生
 講演②
 演題：「外科的大動脈弁置換術の現状とこれから」
 演者：青梅市立総合病院 心臓血管外科部長 染谷 毅 先生
- 21日 「糖尿病教室」(書面開催)
 講義1：「糖尿病の運動療法について」小池日登美先生
 講義2：「脂質について」内田せつ子先生
- 28日 オンライン資格確認導入説明会
 オンライン資格確認の導入に向けた準備について
- 10月6日 保険整備会
- 6日 学術Web講演会
 《講演》
 演題：「長期を見据えた糖尿病治療戦略～メトフォルミン系合剤の利点～」
 演者：社会福祉法人恩賜財団京都済生会病院 支部長 京都府立医科大学大学院医学研究科 京都府立医科大学 名誉教授 中村 直登 先生
- 12日 学術Web講演会
 『医療とAIの融合～心房細動の早期発見を目指して～』
 《特別講演》
 演題：「最新のAI 医療の動向とクリニックに届く AI 医療の実際」～心房細動診断の事例をまじえて～
 演者：国際医療福祉大学 医学部 循環器内科学 教授
- (株)カルディオインテリジェンス 代表取締役 CEO 田村 雄一 先生
- 15日 西多摩医師会「市民健康講座」
 【第1部】東京都相互理解のための対話促進支援事業
 「医師への上手なかかり方」西多摩医師会会長 進藤 幸雄 先生
 【第2部】「コロナにかかったら？」
 ・「産科の立場から」青梅市立総合病院 産婦人科部長 伊田 勉 先生
 ・「小児科の立場から」公立福生病院 企業長 松山 健 先生
 ・「内科の立場から・ワクチンの考え方」公立阿伎留医療センター 副院長 矢嶋 幸浩 先生
 ・「新型コロナウイルス感染症と保健所」西多摩保健所長 渡部 裕之 先生
- 19日 学術講演会(Web、会場聴講)
 『第20回西多摩高血圧カンファレンス』
 【テーマ：高血圧】
 《一般講演》
 演題：「死体検案から見た血管管理の重要性」
 演者：野本医院 院長 野本正嗣 先生
 《特別講演》
 演題：「ARNIの降圧メカニズム」
 演者：埼玉医科大学 国際医療センター リサーチアドミニストレーションセンター 教授 千本松 孝明 先生
- 26日 「糖尿病教室」(書面開催)
 講義1：「糖尿病と薬」松川加代子先生
 講義2：「たんぱく質について」内田せつ子先生
- 27日 学術Web講演会
 『多摩長寿ラボ～長生きのツボとコツ～』
 《講演》
 演題：「そうだったんだ！不整脈医が話す不整脈治療法のおモテとウラ」

演者：青梅市立総合病院 循環器
内科 医長 山尾 一哉 先生

氏 名 戸塚 猛大
勤務先 公立福生病院
出身校大学 横浜市立大学 平成27年3月卒

役員出張

9月7日 多摩医学会役員会
8日 地区医師会社会保険担当理事連絡
会、医療情報担当理事連絡会
16日 地区医師会長連絡協議会
27日 第5回地区医師会感染症担当理事
連絡会
29日 C型肝炎地域連携パス協議会
10月21日 地区医師会長連絡協議会
21日 第6回地区医師会感染症担当理事
連絡会
24日 西多摩地域保健医療協議会

氏 名 渡邊 万葉
勤務先 公立福生病院
出身校大学 北里大学 平成31年3月卒

【退会会員】(準会員)

氏 名 高安 英樹
勤務先 (医社) 向日葵清心会 青梅今井病院

氏 名 望月 智弘
勤務先 (医財) 利定会 進藤医院

氏 名 郡 悠介
勤務先 青梅市立総合病院

【退会会員】(正会員)

氏 名 池田 和彦
勤務先 (医財) 岩尾会 介護老人保健施設
青梅すえひろ苑

氏 名 迎 光矢
勤務先 公立福生病院

【入会会員】(準会員)

氏 名 佐々木 真一
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院
出身校大学 山形大学 平成20年3月卒

氏 名 中里 健
勤務先 公立福生病院

氏 名 佐藤 陽三
勤務先 公立福生病院

氏 名 片山 優希
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 日本医科大学 平成26年3月卒

氏 名 山井 勇輝
勤務先 公立福生病院

氏 名 大澤 至
勤務先 公立福生病院
出身校大学 福島県立医科大 平成31年3月卒

氏 名 小林 甫
勤務先 公立阿伎留医療センター

医師会館休館のお知らせ

年末・年始 事務局は下記の通り休館いたします。

記

12月29日(木)～1月4日(水)まで

(通常業務は28日(水)正午までとさせていただきます。なお1月5日(木)より平常通りとなります。)

お知らせ

保険請求書類提出締切日

令和4年12月（11月診療分） **12月8日（木）** 正午迄
 令和5年1月（12月診療分） **1月6日（金）** 正午迄
 （締切日以前の提出も可能です）

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を
 毎月**第2木曜日 午後2時**より実施いたします。
 お気軽にご相談ください。（本年4月より第2木曜日に変更）

◎相談日 **11月10日（木）**
12月8日（木）

◎場所 西多摩医師会館
 ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
 刑事に関するどのようなものでも結構です。
 ◎相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
 ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
 （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙のこぼ



『錦秋の京都』

京都永観堂の紅葉です。放生池越しに多宝塔を望む景色は撮影スポットです。京都には毎年行っていますが

紅葉の季節は初めてでした。このほか南禅寺、天龍寺、祇王寺とみなすばらしい紅葉でした。

森本 晉

あとがき



新型コロナ流行第7波が去ってもうすぐインフルエンザ流行の季節が到来します。9月中旬に陽性者が出たという報告を身近なところから受けています。

今後新型コロナ流行第8波も同時に襲って来るとも言われています。すでに当院では小・中学生のCOVID-19陽性者が増加傾向です。正直、発熱者あるいは無症状感染者にどう対処すれば良いのか今も迷っている状態です。感染しても軽症あるいは無症状であるから感染しても良いとは思えず、不安はあります。ただ今まで通りに対応していたのでは通常の診療に支障を来してしまい、受診人数制限をせざるを得ない（事実上すでに実施しています）と考えています。制限され受診できなかった患者様には大変申

し訳ない思いです。医者一人の開業医ではすでに対応量を超えていると思っています。感染症に対する一般の方々の行動は初期の警鐘を忘れているようです。本日発熱した中学生が受診、COVID-19陽性だった場合母親は濃厚接触者と思われるのでPCR検査結果が出るまで仕事に行かないでほしいと話したところ、『息子の学校では濃厚接触者になっている生徒が登校してきているのに何で自分は仕事に行けないのか？』と反論されてしまいました。当方の説明不足なのか、他人が外出して良いのになぜ自分だけだめなのか納得いかないようでした。感染拡大防止へ協力する気持が全く感じられませんでした（検査結果はCOVID-19陽性でした）。残念です。まだまだCOVID-19だけではなく多くの感染症などの蔓延予防をしていくことの難しさ

を痛感させられた次第です。
『三密を避け・手洗い・うがい・必要に応じマスクの着用』といっても今更相手にされないようです。
寂しいですが最終的には自分さえ感染しな

れば良いと思うしかないのでしょうか。
(人類全員が自分だけは感染しないようにしていれば、誰も感染しないと思うのです。単純すぎでしょうか?)
難しいです。 近藤 之暢

訃 報

(正会員) 青梅市 (医財) 岩尾会 介護老人保健施設 青梅すえひろ苑

院長 池田 和彦 先生 (享年 75 歳)

去る令和4年8月17日 ご逝去されました。
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。



一般社団法人 **西多摩医師会**

令和4年11月1日発行

会長 進藤幸雄 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

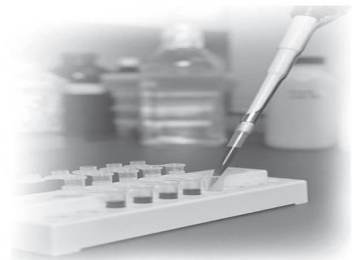
会報編集委員会

三ツ汐 洋 下村 智 鹿児島武志 菊池 孝 奥村 充
馬場 一徳 小高 哲郎 近藤 之暢 古川 朋靖 神應 知道
印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ
地域に根ざした検査所として歩んできました。
高度な技術と最新の設備で地域医療の
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所



株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8
TEL ; 04-2964-2621 FAX ; 04-2964-6659
URL ; <http://www.e-musashi.co.jp>